

Vancity

OpenText™ Operations Manager i で IT 運用管理の効率を向上

概要

Vancity は、資産総額 186 億ドル、加入者 501,000 人、バンクーバーに 58 の支店を展開する、カナダ最大の信用組合です。Vancity では、IT 管理を効率化しつつ「99.999%」のアップタイムを実現するため、情報を「1つの画面」で表示する Operations Manager i (OMi) を含めた OpenText™ の統合ソフトウェアスイートを使用しています。

課題

モダナイズされたプラットフォームには統合管理が不可欠

Vancity の変革を促進しているのは成長です。支店と加入者の数の増加に伴い、同組合は UNIX/Oracle ベースのシステムから Microsoft Windows SQL Server ベースのシステムに移行して IT 環境を拡張しています。従来のメインフレームシステムから Temenos T24 に移行して基幹のバンキングアプリケーションをモダナイズし、サーバーの台数を倍増させたことで、データ量が年 38% の割合で増加しています。こうした状況の中、Vancity が目指したのは、リスクを最小限に抑えながら「常に使える」可用性を確保することでした。同組合は長年、OpenText™ のソフトウェアで効率を改善してきましたが、最近、IT 運用管理の簡素化、統合、自動化を目指して OMi を導入しました。

加入者が満足するサービスを提供するには、社内および社外のアプリケーション（データベース、顧客関係管理 (CRM) システム、オ

ンラインバンキング、ATM など) を安全かつ円滑に稼働させる必要があります。Vancity は、エンタープライズセキュリティの確保のために OpenText™ Security ArcSight を、パフォーマンス、速度、効率化を維持するために OpenText™ の各種の運用管理ツールを採用しています。また、モニタリングに InfoPath フォームを使用しているほか、System Center Operations Manager (SCOM) や NetScout などの各種サードパーティ製ソリューションも使用しています。こうしたソリューションのすべてを統合し、可視化と事前対応型の制御を実現することが、同組合の課題でした。

Vancity のシステムアナリスト III 担当である Jay Rooney 氏は次のように述べています。「当信用組合が目指しているのは、さまざまなシステムをすべて統合することです。このような統合に対応し、1つの画面で自動で管理ができるツールは、私が見る限り OMi の OpsBridge しかありません。」

ソリューション

OMi のイベント相関・統合ダッシュボード

Vancity は 1999 年から、障害およびパフォーマンスのモニタリング用に OpenText™ Operations Manager (OM) を使用してきました。その後、OM で稼働する OMi を導入しました。OMi はマネージャーのマネージャーとして機能し、OpenText™ のツールとサードパーティ製のツールから読み込んだデータを統合して分析を適用するため、統合的なビジネスサービス管理を実現できます。Rooney 氏



概要

- **業種**
ファイナンシャルサービス
- **所在地**
カナダ
- **課題**
基幹のバンキングシステムをモダナイズしながら、「99.999%」の可用性と IT 管理の効率化を実現する必要がある
- **製品とサービス**
Operations Manager i
Operations Bridge Suite
SiteScope
Network Node Manager i
ArcSight
- **成功ポイント**
 - + IT 運用管理を簡素化、統合、自動化
 - + 根本原因の発見に至るまでを 70% 高速化
 - + 相関によりイベント数を 93% 削減
 - + ポリシーの導入時間を 66% 短縮

「当信用組合が目指しているのは、さまざまなシステムをすべて統合することです。このような統合に対応し、1つの画面で自動で管理ができるツールは、私が知る限り Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) OMi の OpsBridge しかありません。」

JAY ROONEY氏
システムアナリスト
Vancity

お問い合わせ

OpenText の CEO、
Mark Barrenechea のブログ



は次のように話します。「これによって SCOM、SiteScope、OM、NNMi などの多数のモニタリングツールを導入できるようになりました。オペレーターはダッシュボードを使い、エンドツーエンドで可視化できます。」イベントの相関により、1日あたりのイベント数が93%削減され、残りのイベントのみ対応すればよい状況になりました。これによって、オペレーターは際限なく続くトラブルシューティングから解放されました。Rooney氏は次のように説明します。「たとえばWebサイトがダウンしたとします。物理的なネットワークがダウンしているときにWebサーバーのトラブルシューティングを実施しても、解決にはなりません。今では、すべてを1か所で確認できるようになりました。これまでは各ツールからばらばらのレポートが出力されており、Webサイトがダウンしたことは分かっても、ダウンした理由は不明でした。」Rooney氏によれば、チケットの数が半減し、根本原因の発見が70%速まり、そのため解決までの平均時間が短縮されたとのこと。ITスタッフがかける時間が短縮されたことによる効果は、年間およそ50,000ドルに及びます。

成果

一度の作成ですべての導入に利用可能 -
大幅な改善

Windows ベースシステムへの移行時に Vancity がサーバー台数を増やす際には、OMi 管理がテンプレートの役割を果たします。

Rooney氏は次のように述べています。「同じポリシーをホストごとに若干変えたバージョンを700種類も作る必要はありません。ポリシーを1つ作成し、導入時にパラメータの値を変更するだけで済みます。以前は、ひたすらコピーし、ひたすら導入するという、非効率なやり方をしていました。一度作成すればすべての導入時に利用できることで、作業を大幅に効率化できます。」

デフォルトのモニタリングポリシーとシステムポリシーをプッシュする機能は、変更管理の簡素化を進めるための機能の一部です。Vancityは、OpenText™のソフトウェアを使い、オンラインになった資産の検知、モニタリングシステムとの変更依頼の共有、旧システムの相互接続の発見、下流工程での予期せぬ障害発生の防止を行っています。セキュリティと高可用性が備われば、顧客満足度が向上し、リスクが低減されます。また、現在のインフラストラクチャを変革するなど、ビジネスに価値をもたらす作業にITスタッフを専念させることができます。Rooney氏は次のように述べています。「今回のさまざまな対策により、レガシー環境をモダナイズしながら、管理を簡素化することができました。」

詳細情報はこちら：

www.microfocus.com/opsbridge

www.microfocus.com/opentext